

株主の皆様へ

第**103**期
中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

 山陽特殊製鋼株式会社

証券コード | 5481



代表取締役社長
武田 安夫

Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト	3
セグメント情報	4
連結財務諸表	5
トピックス	7
会社・株式情報	9

(注)本報告書に記載している業績予想につきましては、策定時点において入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第103期第2四半期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の営業の概況等をご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動影響がみられたものの、企業収益の改善等を背景に設備投資が増加するなど、緩やかな回復基調で推移しました。また、海外経済も新興国の一部に弱い動きがみられたものの、先進国を中心に緩やかな拡大を続けました。

特殊鋼業界におきましては、生産・販売が好調な自動車分野向けを中心に需要は堅調に推移しました。

このような中、当社グループの当第2四半期の売上高は、販売数量が前年同期に比べ増加したことなどにより、前年同期比63億73百万円増の846億47百万円となりました。経常利益は、販売数量の増加や固定費の減少、またコストダウンの実施にも注力いたしましたが、原燃料価格の上昇などにより、前年同期比7億32百万円減の32億69百万円となりました。

四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより、前年同期比17百万円増の25億38百万円となりました。

なお、当第2四半期末を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につきましては、利益配分に関する基本方針に則り、1株当たり3円とさせていただくことといたしました。

今後の見通し

今後につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動影響が次第に薄れ、わが国経済が緩やかに回復していくことが期待される一方で、新興国の経済成長鈍化、国際競争の激化、電力・燃料価格の高止まりなどもあり、当社グループをとりまく事業環境は、引き続き楽観を許さない状況で推移するとみられます。

こうした中、当社グループといたしましては、非価格競争力の強化に向けた取り組みに一層注力いたしますとともに、需要動向に即した生産の実施やコストダウンの徹底など内部努力を重ね、需要家ニーズに的確に対応した高品質の特殊鋼を安定供給できる事業体制の構築へ向けてグループの総力を挙げて取り組

んでまいります。

以上を総合的に勘案し、平成27年3月期通期の業績予想につきましては、平成26年4月30日に公表させていただいた数値を据えおくことといたします。

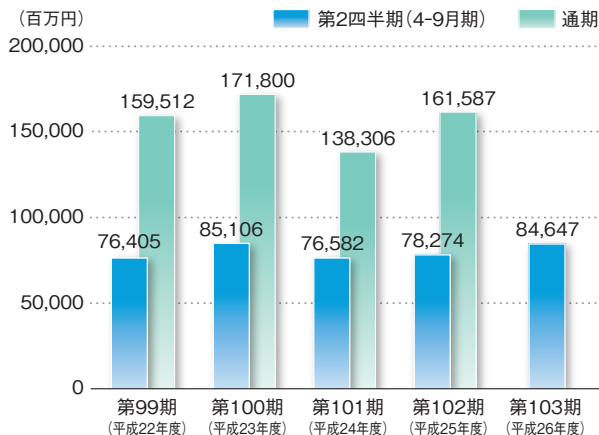
また、当期末を基準日とする剰余金の配当（期末配当）につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、期間業績に応じた配当を実施してまいります。現時点では具体的な金額は未定とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

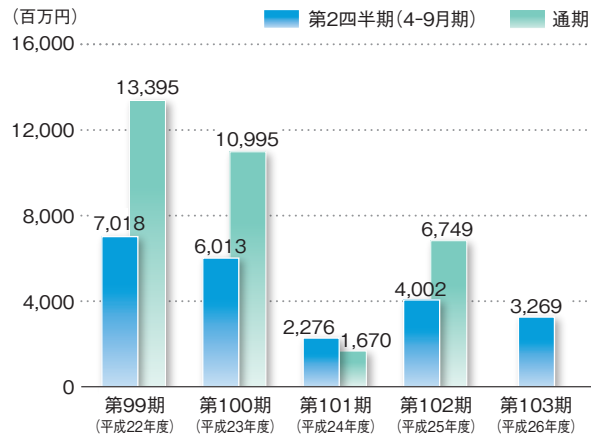
平成26年12月

業績ハイライト

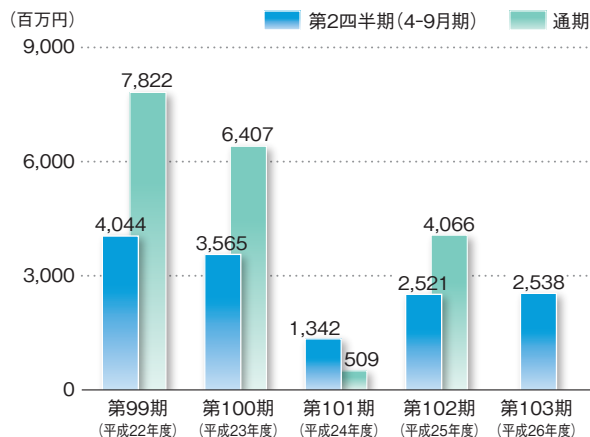
連結売上高



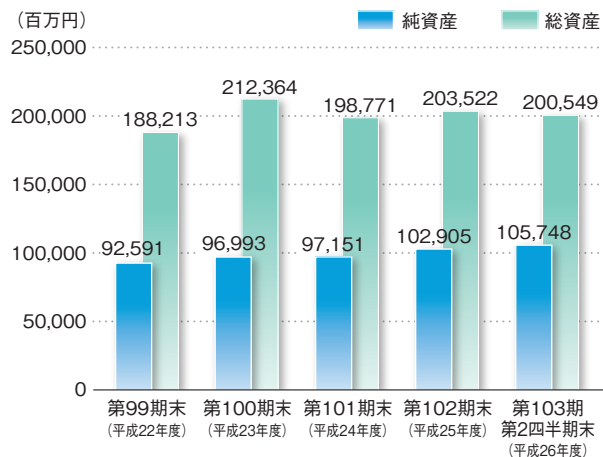
連結経常利益



連結純利益



連結総資産・純資産

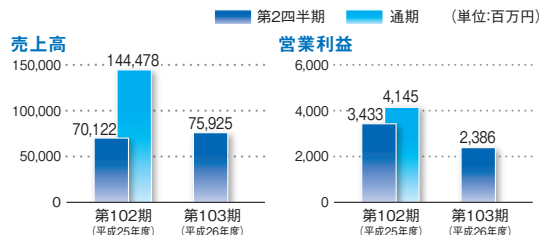


セグメント情報

鋼材事業

当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ増加したことなどにより、売上高は前年同期比58億2百万円増の759億25百万円となりました。営業利益は、原燃料価格の上昇などにより、前年同期比10億47百万円減の23億86百万円となりました。

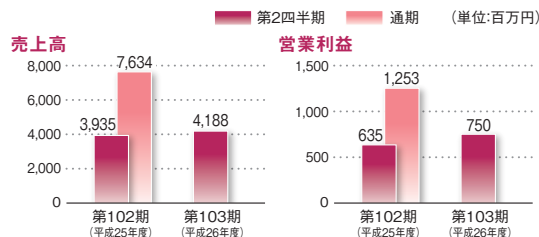
売上高 **759億25百万円** 営業利益 **23億86百万円**



特殊材事業

耐熱・耐食合金、金属粉末製品などの製造および販売を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比2億53百万円増の41億88百万円、営業利益は前年同期比1億15百万円増の7億50百万円となりました。

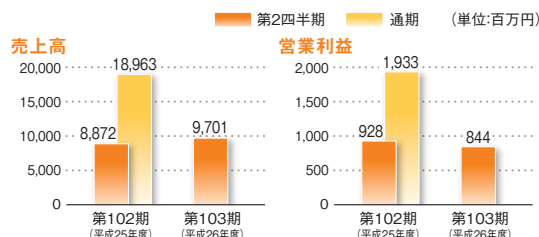
売上高 **41億88百万円** 営業利益 **7億50百万円**



素形材事業

鋼材事業と同様、当第2四半期の販売数量が前年同期に比べ増加したことなどにより、売上高は前年同期比8億28百万円増の97億1百万円となりました。営業利益は、前年同期比84百万円減の8億44百万円となりました。

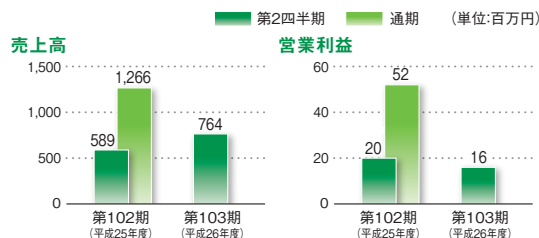
売上高 **97億1百万円** 営業利益 **8億44百万円**



その他

子会社を通じて情報処理サービス等を行っており、当第2四半期の売上高は前年同期比1億75百万円増の7億64百万円、営業利益は前年同期比4百万円減の16百万円となりました。

売上高 **7億64百万円** 営業利益 **16百万円**



※各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日)
(資産の部)	
流動資産	122,454
固定資産	78,095
資産合計	200,549
(負債の部)	
流動負債	69,095
固定負債	25,705
負債合計	94,801
(純資産の部)	
株主資本	101,617
その他の包括利益累計額	3,431
少数株主持分	699
純資産合計	105,748
負債純資産合計	200,549

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	84,647
売上原価	74,738
売上総利益	9,909
販売費及び一般管理費	6,647
営業利益	3,262
営業外収益	483
営業外費用	476
経常利益	3,269
特別利益	907
特別損失	228
税金等調整前四半期純利益	3,948
法人税等合計	1,388
少数株主損益調整前四半期純利益	2,560
少数株主利益	22
四半期純利益	2,538

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,560
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	650
為替換算調整勘定	△ 368
退職給付に係る調整額	23
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 47
その他の包括利益合計	257
四半期包括利益	2,818

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	2,834
少数株主に係る四半期包括利益	△ 16

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,375
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,368
現金及び現金同等物の期首残高	21,579
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,211

TOPIC 1

非鋼材セグメントを強化

タイに素形材製品の
製造・販売現地法人を設立

当社は、タイにおいて素形材製品（ベアリング用旋削リング）の製造・販売を行う現地法人として、「Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.」を設立いたしました。

東南アジア地域での好調な自動車向け需要を中心に、日系ベアリング会社はタイにおいて生産拡大を図っており、今後ともさらなる伸長が想定されます。

当社は、第9次中期経営計画（平成26年度～平成28年度）において、非鋼材事業の強化を掲げており、今回の新会社設立はその一環で行うものです。グループ全体の収益力強化を図り、あらゆる経済環境下でも最善の収益を確保し得る、上下方とも弾力性のある、強靱な企業体質の構築を目指してまいります。



旋削リング



現地法人の概要

商号	Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd. (サイアム・サンヨー・スペシャル・スチール・プロダクト)
所在地	タイ王国サムットプラーカーン県（※当社子会社であるSKJ Metal Industries Co., Ltd.敷地内）
設立日	平成26年9月22日（平成27年10月ごろ操業開始予定）
資本金	418百万バーツ（約13億円）（予定）
従業員	約90名（予定）
主な事業内容	ベアリング用旋削リングの製造・販売（当社グループの製造する鍛造リングおよび鋼管切断リングを輸入し、旋削加工を施し、ベアリング会社に販売する）を予定

品質保証体制を強化

国内特殊鋼メーカー最多のフェイズドアレイ超音波探傷機で従来機比2/3サイズの欠陥まで検出

フェイズドアレイ超音波探傷機(以下、フェイズドアレイ)は、従来機(プローブ回転式超音波探傷機)に比べ、検出能力の高さを表すS/N比が約3倍という高精度の欠陥検出能力を持つ探傷機です。

当社は、平成18年に世界で初めて、このフェイズドアレイを量産ラインに適用。現在は、国内の特殊鋼専業メーカーでは最多の7機を保有しております。

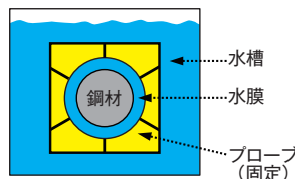
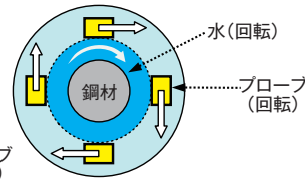
当社は、このフェイズドアレイの設備能力の最大化を進め、このたび従来機に比べ3分の2のサイズ

の欠陥まで安定的に検出できる探傷条件を見出しました。これは、フェイズドアレイの高い設備能力に加え、当社独自のノウハウの積み重ねにより実現したものです。

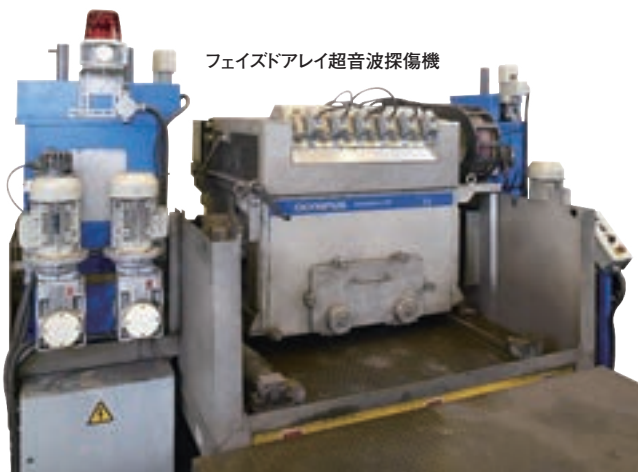
当社は、この確立した品質保証体制を活用し、需要家からのニーズに応えるとともに絶対的信頼を獲得していきます。また、当社のみならず、需要家の国際競争力強化に貢献すべく、品質のさらなる向上に注力してまいります。

ご参考

超音波探傷機は、被検査材に超音波を入射させ、被検査材の内部にある微細欠陥からの反射波を検出する装置です。

○フェイズドアレイ
超音波探傷機○従来型
(プローブ回転式超音波探傷機)

従来機では、プローブ(超音波を入射させる機構)が被検査材の周囲を回転する構造であるのに対し、フェイズドアレイのプローブは固定されています。この構造の違いにより、フェイズドアレイでは、より安定的な探傷が可能となっています。



フェイズドアレイ超音波探傷機

会社概要

平成26年9月30日現在

社 名 山陽特殊製鋼株式会社
 英 文 社 名 Sanyo Special Steel Co., Ltd.
 設 立 昭和10年1月
 資 本 金 20,182百万円
 事 業 内 容 鋼材事業、特殊材事業、素形材事業、その他
 本 社 ・ 工 場 姫路市飾磨区中島3007番地(〒672-8677)
 ☎(079)235-6003(総務部)
 支社・支店・営業所 東京支社、大阪支店、名古屋支店、広島支店、
 九州営業所
 従 業 員 数 連結2,782名、単体1,375名(就業人員)
 ホームページアドレス <http://www.sanyo-steel.co.jp/>

役員

平成26年9月30日現在

代表取締役社長	武田 安夫	取締役	永野 和彦
取締役副社長	田中 延幸	取締役	千葉 貴世
常務取締役	富永 真市	取締役	高橋 幸三
常務取締役	柳谷 彰彦	取締役	桑名 隆
常務取締役	西濱 渉	常任監査役(常勤)	木村 弘明
常務取締役	榮山 博之	監査役(常勤)	吉田 敏彦
取締役	小林 正治	監査役(常勤)	佐々木 英之
取締役	大井 茂博	監査役	加納 駿亮
取締役	柳本 勝	監査役	岩崎 正樹
取締役	新野 員也		

重要な子会社

平成26年9月30日現在

鋼材事業

連結子会社

- 陽鋼物産株式会社
(特殊鋼製品、製鋼原料、諸資材などの売買)
- サントク精研株式会社
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山特工業株式会社
(特殊鋼の加工、機械設備のメンテナンス)
- 山特テクノス株式会社
(特殊鋼の加工)
- SKJ Metal Industries Co., Ltd.
(特殊鋼製品の加工・販売)
- P.T. SANYO SPECIAL STEEL INDONESIA
(特殊鋼製品の加工・販売)
- 山陽特殊鋼貿易(上海)有限公司
(中国における特殊鋼製品の販売等に関わる業務)
- Sanyo Special Steel India Pvt. Ltd.
(インドにおける特殊鋼製品の販売等に関わる業務)

持分法適用関連会社

- Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.
(特殊鋼製品の製造・販売)

素形材事業

連結子会社

- サントクテック株式会社
(特殊鋼製品の加工)
- SANYO SPECIAL STEEL U.S.A., INC.
(特殊鋼製品などの輸入・販売)
- 寧波山陽特殊鋼製品有限公司
(特殊鋼製品の加工・販売)
- Siam Sanyo Special Steel Product Co., Ltd.
(素形材製品の製造・販売)

持分法適用関連会社

- Advanced Green Components, LLC
(特殊鋼製品の加工)

その他事業

連結子会社

- サントクコンピュータサービス株式会社
(情報システム構築・運用・コンサルティング)
- サントク保障サービス株式会社
(警備業、施設管理等のサービス業務)

株式の状況

平成26年9月30日現在

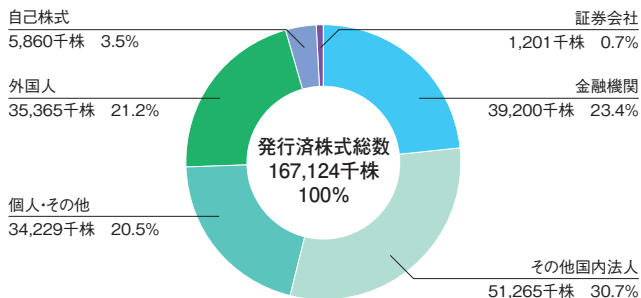
発行可能株式総数	474,392,000株
発行済株式総数	167,124,036株
株主数	15,121名

大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
新日鐵住金株式会社	24,256	15.13
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	10,947	6.83
山陽特殊製鋼共栄会	10,088	6.29
日本精工株式会社	7,470	4.66
株式会社三井住友銀行	5,696	3.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,624	2.88
JUNIPER	3,979	2.48
株式会社みずほ銀行	3,642	2.27
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	3,214	2.00
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	3,108	1.94

(注)当社は、自己株式5,860千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式の所有者別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月下旬

同基準日 3月31日

配当の基準日 期末配当 3月31日
中間配当 9月30日

電子公告
【アドレス】 <http://www.sanyo-steel.co.jp/>
事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒540-8639
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

お問合せ先 【フリーダイヤル】0120-782-031

上場証券取引所 東京(証券コード 5481)

単元未満株式の買増・買取請求制度のご案内

当社には、1,000株未満の株式(単元未満株式)の買増・買取請求制度がございます。

詳細は、上記お問合せ先までお尋ねください。



**SANYO
SPECIAL
STEEL**